



乙島っ子

令和4年度 NO. 24

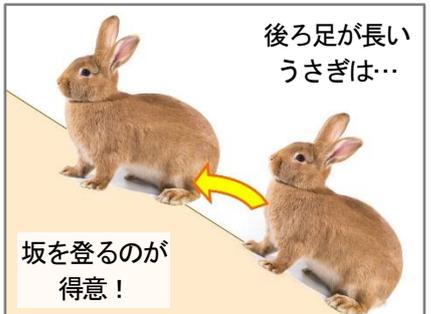
令和5年 1月10日 倉敷市立乙島小学校

【引用】Woman excite

3学期も…「言葉^{みが}を磨く」

長い冬休みが終わり、3学期を迎えました。2023年の幕開けでもあることから、言葉の磨き方を示しました。

ねん
2023年の
はじまり



のぼ ざか
うさぎの登り坂

- 得意分野で実力を発揮する
- 条件に恵まれて物事が調子よく進む

得意分野で実力を発揮

- 今度の「なわとび大会」は、二重とびの練習を頑張っていたAさんにとっては、「うさぎの登り坂」だろう。練習の成果が思う存分発揮できるだろう。

条件に恵まれ順調に進む

- 初めての学習で不安だったけど、先生がめあてをききざまに示してくれたこと、優しい友達のおかげで、「うさぎの登り坂」のように順調に進んだぞ。

干支にちなみ、「うさぎの登り坂」ということわざを紹介し、それがもつ意味のごとく、「得意分野で実力を発揮しよう」と呼びかけました。一方、「条件に恵まれ…」の方は、その条件を整備する教師の側のがんばりどころです。

「言葉をみがく」ポイント

- 「言葉をみがく」と心が豊かになる
- 「言葉をみがく」のは、普段の授業で…



3学期のテーマは、2学期に引き続き「言葉をみがく」としました。特に、総合的な学習の時間では、今年度も、「生き方」に関わる「心」が豊かになることでしょう。このように、言葉は、「普段の授業」でみがかれていくのです。

めざす子ども像の本質

- にこにこ → なかよく
- いきいき → いきかた
- のびのび → けんこう
- いそいそ → こうきょう

ほめ言葉をみがく

- 「個」をほめる。…「～できるのが、あなただよね」
- 「結果」でなく「過程」をほめる。…「がんばっているね」
- 意味や価値を伝える。…「～してくれ、うれしいよ」

非認知能力を育むために ほめたい子どもの姿

思いやりのある子ども (はにかみこ 思いやり)	自ら学び考える子ども (いきいき べんきょう)	自ら考え伝える子ども (のびのび うんどう)	実践する子ども (いそいそ きぎょう)
<ul style="list-style-type: none"> 挨拶が丁寧で、相手の目を見て話す。 相手の話をよく聞き、相手の気持ちに寄り添う。 自分の意見を押し付けず、相手の意見を尊重する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や問題を自ら発見し、自ら解決しようとする。 学習の過程で、自ら考え、自ら学ぶ。 学習の成果を、自ら発表し、自ら評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を、自ら発表し、自ら伝える。 自分の考えや意見を、自ら説明し、自ら納得させる。 自分の考えや意見を、自ら実践し、自ら評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の過程で、自ら実践し、自ら評価する。 学習の成果を、自ら発表し、自ら評価する。 学習の成果を、自ら実践し、自ら評価する。

「子ども像」をほめ言葉でチャックダウン

3学期は、本「年度」のまとめと振り返りの学期でもあります。学校評価の結果はさておき、「めざす子ども像」は達成されたでしょうか。私達は、再び本質に立ち返り、みがかれたほめ言葉で児童の成長を見取っていきます。

※ カラー版を Web ページに掲載しています。ご覧ください。→http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter_3_2_4.html